



# 市議会だより



本会議風景

市民の皆様には、日ごろから市議会に対しまして、温かいご理解と多大なご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本年も、市民の皆様の期待に応える行政の推進と、より豊かな住みよいまちづくりを目指して、行政とともに議員一同全力を傾注してまいりる所存でございます。

今後とも市民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご多幸を心からお祈りいたします。

松阪市議会

迎春

## 平成20年11月臨時会 (11月7日～19日) を開催

平成19年度一般会計・特別会計  
歳入歳出決算を認定

### 主な掲載内容

- 2～3 ページ…平成19年度一般会計・特別会計決算審査
- 4 ページ……平成19年度一般会計・特別会計決算状況  
編集後記

# 一般会計 特別会計 決算審査

## 決算調査特別委員会委員

委員 長	高橋 護	委員	大平 勇
副委員 長	久松 倫生	委員	佐波 徹
委員	山本 芳敬	委員	安達 正昭
委員	田中 祐治	委員	中島 清晴
委員	山本 節		

### 一般会計歳入

#### (1) 市税について

三位一体改革の税源移譲により、自主財源の根幹をなす市税の確保に係る徴収業務の強化が重要となっている。収納率向上のため、電話催告システム、コンビニ収納、インターネット公売の実施、さらには滞納者に対する日曜・夜間相談窓口の開設や全庁挙げての夜間徴収などにより努力されているところではあるが、財源確保と税の公平・公正を保つためにも収入未済額の縮減に取り組まれ、より一層収納率の向上に努められたい。

### 一般会計歳出

#### (1) 予算の執行について

厳しい財政状況の中ではあるが、予算の執行に当たっては市民ニーズ等に

#### (2) 補助金の見直しについて

各種補助金については過去の経緯もあるが、慣例にとらわれることなく行政の責任分野、経費負担のあり方、効果や必要性を十分検証する中で、補助目的、補助金額を十分精査され、見直しを図られたい。

#### (3) 自主防災組織について

近い将来予想される東南海地震等の災害に備え、自主防災組織が結成されていない地域への結成促進に努力されたい。

#### (4) 南三重活性化協議会について

南三重活性化協議会を設立し、記念講演会の開催や氏郷まつりでの啓発、ホームページの開設など南三重地域活性化への促進に努力されているが、今後とも南三重地域が一体となり発展す

るよう努められたい。

#### (5) 松阪市納税貯蓄組合について

納税貯蓄組合の活動により自主納付された市税等の納付率は高いことから、収納率向上のためにも納税貯蓄組合の活動への支援に努められたい。

#### (6) 救急医療体制について

医師不足等から輪番制による救急医療体制の崩壊が危惧されたが、医師会、市内三病院、市の連携・協力により維持することができたことは高く評価するものである。また、医師会発行のポスターや広報まつさかなどを通じ、広く市民に救急医療のあり方について理解をいただくようPRされ、効果も十分伺えたことから、今後とも一層の啓発に努められたい。

#### (7) ごみの減量化について

循環型社会において、ごみの減量化については、これを目的とした標語・ポスターの募集、広報まつさか、リーフレット等で啓発に努められているが、ごみの資源化・ごみを出さない工夫についても啓発を一層進められたい。

#### (8) 農林水産振興事業について

地域の産業である農林水産業を取り巻く環境は、担い手不足や高齢化など大変厳しいものがあり、地域の活性化も憂慮される状況であることから、後継者の育成に取り組むとともに、地域産業の振興や生産意欲の向上を図れるよう一層の事業推進に努められたい。

**(9) 水田農業構造改革対策について**

米の生産目標数量配分及び産地づくり対策において、計画的かつ円滑に実施するための指導・調整が行われているところであるが、米価下落を抑制するためにも、さらなる事業の推進に努められたい。

**(10) 茶業振興対策について**

深むし煎茶が関西茶品評会において農林水産大臣賞・産地賞を受賞し、茶のPRに大きく貢献されたところであるが、今後も関係機関との連携を密にし、消費拡大に向けた茶業振興に努められるとともに、飯南茶業伝承館の有効活用になお一層努力されたい。

**(11) 公共下水道事業会計への繰出金について**

県との協議により流域維持管理負担金が引き下げられ、公共下水道事業会計繰出金が減少したことは評価するものである。今後とも一般会計からの繰出に当たっては十分に精査のうえ慎重に対応されたい。

**(12) 「いじめゼロ」子どもいきいき学校生活支援事業について**

中部中学校区をモデル校区に指定し、いじめ問題に対する実践的な調査研究を行うことにより、いじめの未然防止につながる、前年度に対し発生件数が約70%減少するなど成果が顕著となっていることから、その成果を各学校が

共有し、活用できるよう取り組まれたい。

**(13) 教職員研修事業について**

日常の教育実践や教育研究、実践上の問題解決に役立つ研修の場を提供し、教職員の指導力向上に取り組まれていくところであるが、今後とも研修の充実を図るとともに、受講しやすい職場環境づくりの支援についても検討されたい。

**(14) 学校施設の安全対策について**

学校施設の耐震補強等については長期計画に基づき実施されているところであるが、児童・生徒が1日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割を果たすことから、その安全性の確保に努められたい。



決算調査特別委員会の審査風景

**特別会計**

**国民健康保険事業特別会計について**

国民健康保険の資格証明書が発行される滞納者においては、納税意識があっても払えない事情のあるケースもあり、医療費の一時全額払いが大きな負担となることから、実情に応じたきめ細かな対応をされるとともに、悪質な滞納者に対しては税の公平・公正の原則から厳正に対処されたい。

**簡易水道事業特別会計について**

簡易水道事業に対する国庫補助制度の見直しが行われることから、簡易水道事業の統合に当たっては地域性や過去の経緯も踏まえ、住民の意向などに十分配慮され綿密に対応されたい。

**むすび**

国内の景気は後退局面をたどっており、家計を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、雇用環境にも悪化の動きがみられます。

このような厳しい社会情勢のもと、国における三位一体改革をはじめとした地方交付税、補助金等の見直しなど地方財政を取りまく環境はますます厳しい状況になってきています。

平成19年度予算の執行に当たっては財源不足から歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、歳出の抑制が図られています。職員の退職金、高齢化な

どに伴う介護保険事業・老人保健事業、公債費等の経常的な経費の増加などから、経常収支比率は94・0%となり、財政の硬直化が進んでいます。

このような財政状況のもとで、選択と集中により市民が安全・安心に暮らせるまちづくり実現のために取り組まれた施策の展開は評価するものであります。

合併により新「松阪市」の誕生からやがて4年になり、協調と連帯の成熟期に入ってきています。新「松阪市」として一体感の醸成を高めるためにも合併協議で積み残されてきた課題等の整理をさらに進められるとともに、職員が一人となつてさらなる行財政改革に取り組み、公平・公正を原点においた市政の運営になお一層の努力を望むものであります。

**11月臨時会で決まったこと**

- ▼認定したもの
- ▼平成19年度松阪市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について
- ▼報告されたもの
- ▼平成19年度松阪市一般会計継続費精算報告書について
- ▼可決したもの
- ▼松阪市議会特別委員会の設置について

- ▼選任したもの
- ▼松阪市議会特別委員会の委員選任について

平成19年度  
歳入歳出決算状況

平成19年度 一般会計歳入歳出決算状況

(単位：千円)

一般会計

- ・収入額 55,514,570千円
- ・支出額 54,733,857千円
- ・差引残額 780,713千円

特別会計

○競輪事業会計

- ・収入額 17,351,131千円
- ・支出額 17,336,737千円
- ・差引残額 14,394千円

○国民健康保険事業会計

- ・収入額 16,386,255千円
- ・支出額 16,228,840千円
- ・差引残額 157,415千円

○老人保健事業会計

- ・収入額 13,827,548千円
- ・支出額 13,587,792千円
- ・差引残額 239,756千円

○介護保険事業会計

- ・収入額 11,128,942千円
- ・支出額 10,956,932千円
- ・差引残額 172,010千円

○簡易水道事業会計

- ・収入額 488,713千円
- ・支出額 485,166千円
- ・差引残額 3,547千円

○戸別合併処理浄化槽整備事業会計

- ・収入額 264,523千円
- ・支出額 260,124千円
- ・差引残額 4,399千円

○農業集落排水事業会計

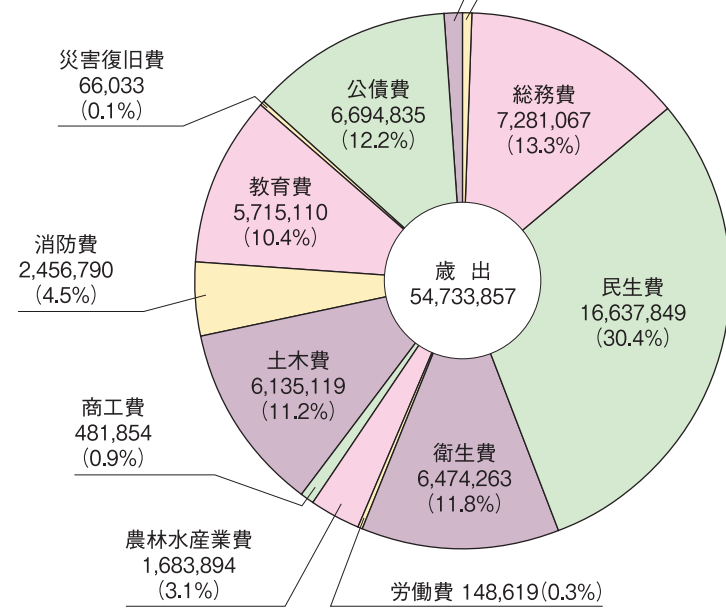
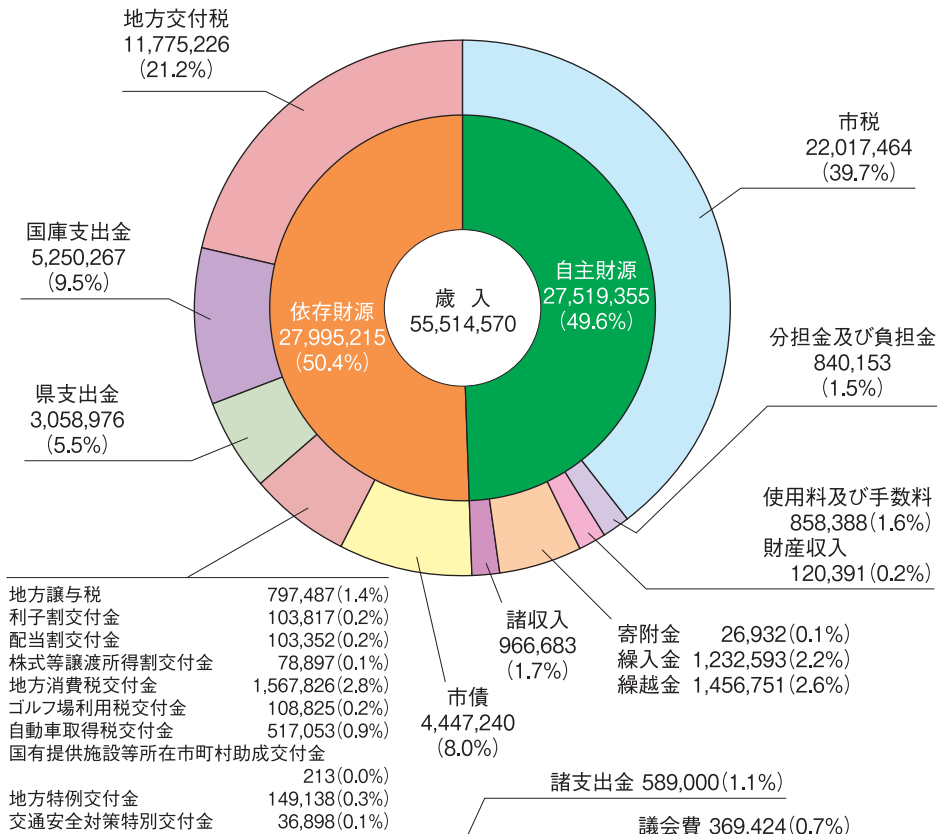
- ・収入額 72,549千円
- ・支出額 72,374千円
- ・差引残額 175千円

○住宅新築資金等貸付事業会計

- ・収入額 149,506千円
- ・支出額 146,451千円
- ・差引残額 3,055千円

○ケーブルシステム事業会計

- ・収入額 174,848千円
- ・支出額 174,334千円
- ・差引残額 514千円



編集後記

あけましておめでとうござ  
います。  
本年最初の市議会だより第  
23号をお届けいたします。

本号では、昨年11月臨時会  
における決算調査特別委員  
会の審査内容を中心に掲載  
いたしました。

市議会では、市議会だより、  
市議会ホームページでの会  
議の検閲、議会放映等市議  
会の活動が少しでも皆様方  
の身近なものとなりますよう  
、議員一同日々活動して  
おります。  
市議会だより及び議会放映  
を見られてのご意見・ご感  
想を市議会だより編集委員  
会(松阪市議会事務局)まで  
お寄せください。



お問い合わせ 松阪市議会事務局

電話 53-4433  
FAX 23-3962  
Eメール gikai@city.matsusaka.mie.jp  
発行/松阪市議会  
(〒515-8515 松阪市殿町1340番地1)  
編集/市議会だより編集委員会